

「先生も思わず納得に反省文の書き方教室」  
掲載例文使用条件

① 「先生も思わず納得に反省文の書き方教室」(以下「本サイト」)の例文は、学校提出に限りその使用を認めます。

② 本サイトの例文を使用し、何らかの問題が発生しても、本サイトおよび管理人は一切の責任を負わないものとします。

③ 本サイトの例文を使用する場合、すべてにおいて使用者の自己責任で対応するものとします。

④ 本サイトおよび例文に関しては、苦情とうは一切受け付けません。

⑤ 何かしらの問題が発生する可能性がある場合、判断した場合、使用は控えてください。

⑥ 本サイトの例文を他サイトへ転載することは、理由のいかんを問わず厳禁とします。

⑦ 他サイトからの直リンクは一切禁止します。  
以上



だろう」「もしかしたらコンクールで入賞で  
 きるかもしれない」と、さまざまな邪念が心  
 の中に芽生ええました。そしてその誘惑に負け  
 てしまい、他の人が書いた作文を、そのまま  
 書き写すという愚行に至りました。  
 わたしたちが生活する大切な地球を守るた  
 めに、また真正面から取り組まなければなら  
 ない重要な課題をじっくりと考えるために、  
 環境に関する作文を書くという行為は、必要  
 不可欠です。にもかかわらず、「何を書いて  
 いいのか分からないから」「上手な作文を提  
 出できれば先生に褒められるかもしれないか  
 ら」「コンクールで入選して表彰されるかも  
 しれないから」との理由で、環境とは何かを  
 真剣に考えることを放棄しました。そして上  
 手な文章をコピーペーストし、考えることを  
 放り出し、安易な方法を選んでしまいました。  
 このことについては両親からも「若いころ  
 に考えることは、大人になってからのそれと  
 は比べものにならないほど、精神を大きく向

上させるものだ。それなのに人の文章を書き  
 写すとは何事だ。環境という将来誰もが向き  
 合わなければならぬ重要な課題について、  
 考える機会を失うことになるのだ」と、きつ  
 くしかられました。また環境についても、ど  
 れほど大切な問題であるのかも論されました。  
 今後は、環境に関する作文に限らず、困難  
 な課題や時間のかかる宿題も、自力で最後ま  
 でやり遂げることを誓います。大変だから、  
 面倒だからと逃げていては、自分が成長する  
 機会をみすみす捨て去ることになります。  
 この度、環境に関する作文流用では多くの  
 人たちに迷惑をおかけいたしました。謹ん  
 でおわび申し上げます。  
 今回、親身になって私のことを厳しく、か  
 つ真剣にしかってくださった●●先生、そし  
 て、悲しませてしまった両親のためにも、こ  
 のような不始末は二度と起こさないことをこ  
 こに誓約いたします。  
 以上